

あらうんど 環

このコーナーでは、水資源機構の環境保全の取り組みを紹介します。

ふるさとのおさかなをまなぶ

沼田総合管理所

「奥利根湖」、そこは利根川の最上流に位置する矢木沢ダム（群馬県利根郡みなかみ町）の貯水池、首都圏の水のふるさとです。上越国境の山深くブナやナラの原生林に囲まれた湖は、新緑萌える山々と残雪がまぶしい春から初夏、燃えあがるような紅葉の大パノラマの秋、積雪のため道路が閉鎖され古の秘境の趣を深くする冬、と四季折々に美しい風景が広がります。

巡りくる春、ゴールデンウィーク前後に道路の閉鎖を解き一般開放します。特にその初日には、お腹を空かせたヤマメやイワナを、あわよくば尺物（三十センチメートル超）を狙って、多くの釣り客が訪れ、早朝あるいは前夜から数十台の車が列をなします。

この奥利根湖で環境を学ぶ会を「おさかな勉強会」と名付け、利根漁業協同組



▲稚魚を奥利根湖へ放流



▲奥利根湖の巡視体験

ムについて写真やクイズを交えた説明をしました。途中、すれ違う船の引き波で船が揺れると、湖面いっぱい元気な声が響き渡り、楽しい体験となりました。

なお、利根漁協による奥利根湖のコクチバス駆除は、平成十一年五月の生息確認の翌年度から完全駆除にむけ努力を続けています。

午後は、奥利根湖周辺に棲む動物たちの話と矢木沢ダムの見学です。ダムの中では、気温十度以下の涼しい（寒い？）監査廊を体験してからダム直下へ。巨大なアーチダムを見上げて記念撮影をして「おさかな勉強会」を終えました。

今後、ふるさとの豊かな自然の中、環境とダムへの関心と理解を深める自然体験を提供し続けたいと思います。

▲巨大なアーチダムを見上げて記念撮影



沼田総合管理所ホームページはこちらから
<https://www.water.go.jp/kanto/numata/index.html>